

未来へ つなぐ 50年

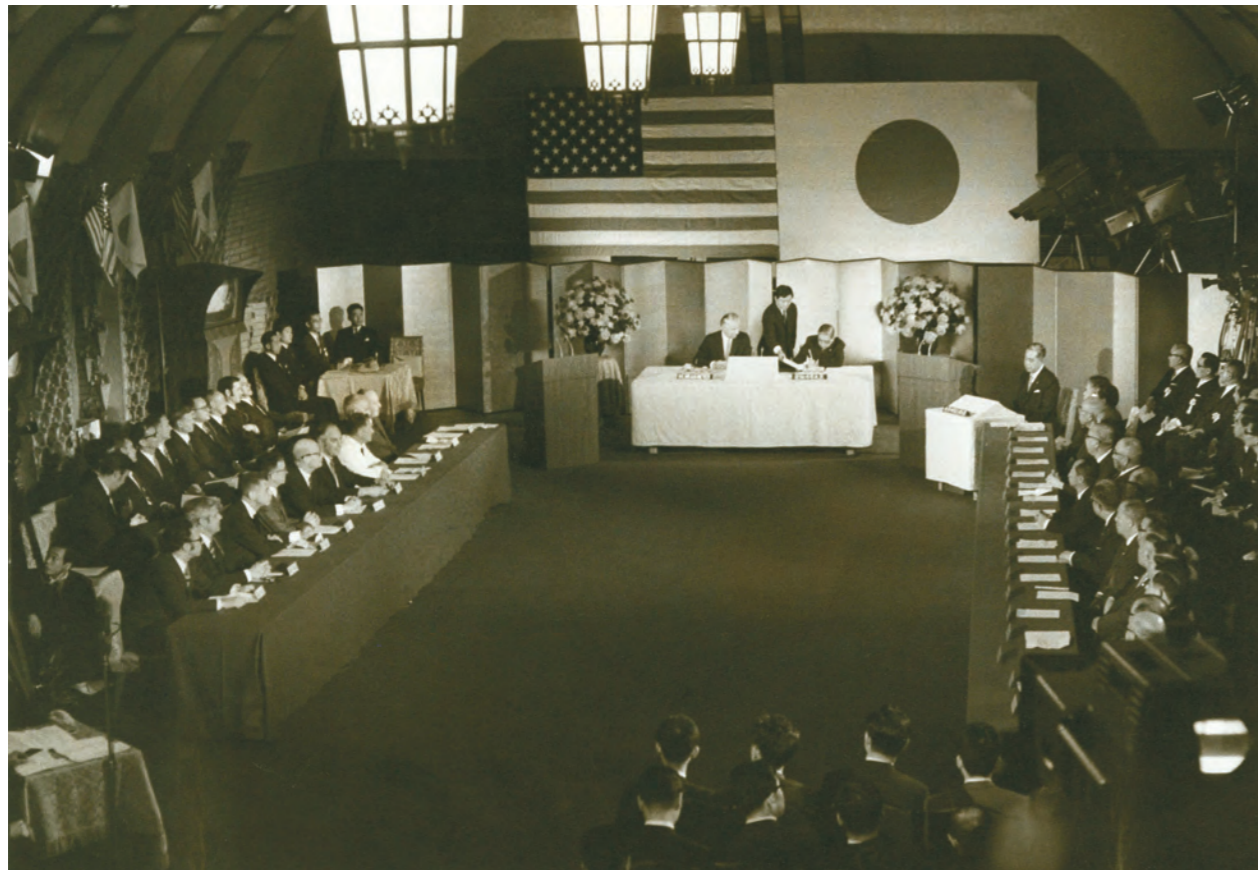
50 years of connecting to the future

1972 → 2022

半世紀にわたる主な出来事を写真で振り返る
プレイバック編

~1972/5月15日 祖国復帰への道のりとうねり

[昭和47年]



首相官邸で行われた沖縄返還協定の調印式=1971年6月17日



1970年11月15日に実施された国政参加選挙で当選した議員の皆さんが、屋良主席(左端)とがっちり手を合わせました。

1969年11月の日米首脳会談で沖縄の日本復帰が正式に決定する前後から、県内外でさまざまな取り組みが始まりました。69年4月28日の祖国復帰要求県民総決起大会には屋良朝苗主席も出席し、復帰への機運が大いに高まりました。復帰を見据えた国政参加選挙では、保守・革新合わせて7名の国会議員が誕生。



沿道の支持者に手を振って応える屋良主席ら=1969年4月28日、国際通り



都内を行進する沖縄県祖国復帰協議会会員ら=1969年4月28日



デモ隊と警官隊のもみ合い=1969年4月28日、国際通り

最後の琉球切手争奪戦

(1972年4月20日)

琉球切手の人気は復帰間際になって急上昇しました。最後の発売日には切手愛好家や投機目的の人たちが那覇市与儀の郵政庁前や隣的那覇市民会館駐車場に陣取り、2日前から徹夜でその発売を待ちました。



囲碁で時間をつぶす人たち



多くのゴミが残された那覇市民会館駐車場



1972/5月15日 復帰式典/まちの様子

[昭和47年]



政府主催の「沖縄復帰記念式典」。山中貞則総務長官が音頭をとって万歳三唱が行われました。=那覇市民会館



政府主催の式典後には、県主催の「新沖縄県発足式典」が開かれました。

1972年5月15日、沖縄と東京で沖縄復帰記念式典が開催されました。沖縄会場では、式典に続いて「新沖縄県発足式典」も開かれ、盛大に沖縄県の発足を祝いました。



約1万人が出席して開かれた東京での式典には、天皇后両陛下も御臨席。佐藤栄作総理とアグニュー米副大統領が握手を交わしました。=日本武道館



復帰当日の国際通り。道路の両端には「沖縄県」と書かれた立て札が立ち並びました。

ドルよ さようなら

本土復帰と同時に通貨も切り替わりました。1ドル=305円で、切り替え総額は315億円。銀行や通貨交換所には多くの県民が詰めかけ、ドルを円に交換する姿が見られました。



1973/5月3日～6日 若夏国体開催 [昭和48年]



波照間島で採火された「沖縄の火」が炬火台に点火されました。



入場行進の様子

復帰を記念した沖縄特別国民体育大会(若夏国体)が「強く・明るく・新しく」をスローガンに開催されました。那覇市の奥武山公園ほか県内11市町村の会場で総勢3342人が競技に参加しました。

1975/5月20日 沖縄自動車道が開通 [昭和50年]



関係者によるテープカット



開通式終了後は約100台の自動車による「通り初め」がありました。=許田インターチェンジ

一般国道329号のうち、許田IC-石川IC間が有料道路「沖縄自動車道」として開通しました。その後、那覇IC-石川IC間の開通に伴い、1987年に高速自動車国道に格上げされました。

1975/7月20日~1976年1月18日 沖縄国際海洋博覧会

[昭和50年]



水上ステージで開かれた開会式

「海—その望ましい未来」を統一テーマに開かれた沖縄国際海洋博覧会は、36か国と3つの国際機関が参加。特別博としては当時史上最大規模となりました。期間中の入場者数は約349万人。開催に伴い、道路やホテルなどの観光施設が数多く整備されました。



開会前の会場付近の様子=1974年



メインゲート



未来の海上都市をイメージしたアクアポリス



大人気の水族館



閉会式前日には夜遅くまでお別れのアトラクションが開かれました。

1978/7月30日 730(ナナサンマル)交通方法変更

【昭和53年】



多くの見物人が見守る中で、交通方法が変更されました。＝那覇市泊交差点



交通方法変更で混乱する那覇市の開南バス停

1947年以来続いていた右側通行が、31年ぶりに左側通行に戻されました。前日の午後10時から一般車両の通行が禁止され、当日朝6時までの8時間ですべての変更作業が終了。当日は朝から多くの住民が各地の主要道路で交通方法変更の様子を見物しました。



7月29日夜には標識や信号の切り替え作業が夜を徹して行われました。



始発に向けて待機する路線バス＝那覇バスターミナル



県庁入口でも啓発の看板が立て掛けられました。



港に下ろされた右ハンドルのバス



啓発のために作られたステッカー